

令和7年度 講座等企画団体助成事業

事業報告書

(ホームページ公開用)

講座名	さくらさく♡ママ講座
日時	令和7年10月2日(木)10:30~12:30 令和7年11月6日(木)10:30~12:30 令和7年12月4日(木)10:30~12:30 令和8年1月8日(木)10:30~12:30
目的	<ul style="list-style-type: none">●孤立の防止と心の支援 妊娠・出産・育児期におけるママたちの孤立を防ぎ、安心して話せる場を提供する。●学びと情報の共有 助産師や専門職による講話や勉強会を通じて、育児・健康・復職などに関する実用的な知識を得る。●地域のつながりづくり ママ同士や地域支援者との交流を通じて、育児を共に支え合う温かな関係性を築く。●産後うつや育児ストレスの予防 心のケアやセルフケアの視点を取り入れ、ママ自身の健康と幸福感を高める。●子育てと就労の両立支援 育児と仕事の両立に向けた情報提供や相談支援を行い、社会とのつながりを後押しする。●経済的・社会的に不利な立場にある層(貧困世帯、若年妊産婦など)への支援 費用を軽減し参加を促すことで、ニーズに応じた包括的な支援体制の構築及びより安心・安全な子育て支援を提供する基盤の強化を図る。 <p>【DEIGOプラン】 1-3-11 妊娠・出産期における女性への健康支援 3-2-40 貧困等生活上の困難に対する支援</p>
対象	妊婦、産後1年以内のママと赤ちゃん
講師	令和7年10月2日(木):病院に行く前に!こどもの病気おうちケア 講師 嶺井久美子(看護師・保育士) // 11月6日(木):赤ちゃんの頭のかたちケア 講師:石嶺かおり(助産師・BHCアドバンスセラピスト) // 12月4日(木):ちょっと気になるおうち性教育講座 講師 赤嶺秋(助産師) // 1月8日(木):みんなで学ぶはじめての離乳食講座 講師 上地あさか(保育士・離乳食アドバイザー)
会場	ママケアハウス・さくら
定員	40名 (申込者数 : 40名)
参加者数	40名

<p>講演内容 (概要)</p>	<p>●令和7年10月2日(木):病院に行く前に！こどもの病気おうちケア 講師 嶺井久美子(看護師・保育士) 参加者数:10名(うち産後ケアから3名 若年妊産婦2名) 発熱や咳、発疹など、よくある子どもの不調に対して家庭でできるケアや受診の目安を学び、慌てず対応する力、安心して子育てできる知識を紹介しました。</p> <p>● // 11月6日(木):赤ちゃんの頭のかたちケア 講師:石嶺かおり(助産師・BHCアドバンスセラピスト) 参加者数:11名(うち産後ケアから3名 若年妊産婦2名) 向きぐせや頭の形が気になる赤ちゃんへ、おうちでできる頭のケアや抱っこ・寝かせ方の工夫を助産師がやさしく解説、発達を促し、健やかな成長をサポートする方法についてお話ししました。</p> <p>● // 12月4日(木):ちょっと気になるおうち性教育講座 講師 赤嶺秋(助産師) 参加者数:10名(うち産後ケアから4名 若年妊産婦0名) 助産師が伝える、0歳から始めるおうち性教育。からだの大切さやプライベートゾーン、親子の関わり方をやさしく学び、家庭で自然に性の話が育てる土台を育てるお話しをしました。</p> <p>● // 1月8日(木):みんなで学ぶはじめての離乳食講座 講師 上地あさか(保育士・離乳食アドバイザー) 参加者数:9名(うち産後ケアから4名 若年妊産婦0名) はじめての離乳食を安心してスタートするための基礎講座。始める時期や進め方、食材の選び方や調理のポイントを学び、不安を自信に変える方法についてお話ししました。</p>
<p>参加者の声</p>	<p>① おうちケア ・家でのケアや日常生活での困りごとを具体的に聞くことができ、理解が深まった。症状が出た際も、落ち着いて対応できそうだと感じた。</p> <p>② あたまのかたちケア ・赤ちゃんの頭の形について、初めて詳しく知ることができた。一人ひとり違う頭の形に合わせた指導がとても良く、家庭でもマッサージを続けていきたいと思った。 ・初参加で緊張していたが、アットホームで安心できる雰囲気だった。気になっていた頭の歪みについて個別にじっくり相談でき、多くの具体的なアドバイスがもらえて学びが深まった。</p> <p>③ おうち性教育 ・子どもを守ることへの不安があったが、日常の声かけや行動からできることがあると分かり安心した。成長に合わせた性教育も学べ、無理なく取り入れられそうだと感じた。 ・性教育への恥ずかしさがなくなり、身体を知り自分を大切にするための大事な知識だと気づいた。今後は年齢に合わせて、わかりやすく伝えていきたいと思った。</p> <p>④ 離乳食講座 ・これまで離乳食に不安を感じていたが、ゆっくり質問でき疑問が解消された。丁寧な説明でハードルが下がり、もっと気軽に親子で離乳食に取り組もうと思えた。 (一部抜粋)</p>

写 真



←おうちケア



あたまのかたちケア→



←おうち性教育



はじめての離乳食→

共 催 (公財) おきなわ女性財団